

学校づくりワークショップ〈改築懇談会編〉 News Letter 4

第4回 糀谷中学校  
改築懇談会を開催しました!

前回話し合った各門と校内動線、仮設校舎の計画について決定した方針を報告しました。

また、前々回も参加いただいた教育施設の学識経験者である東洋大学名誉教授の長澤悟先生から、地域色を活かした学校づくりに関するお話と、グループワークの講評をしていただきました。

ワークでは地域利用と管理面での考え方と共に、糀谷中学校の特徴である夜間学級について「糀谷らしいゾーニング」を考えてもらいました。



■実施日時：令和7年11月26日（水）  
16：00～17：30  
■場 所：糀谷中学校 第3多目的室

■プログラム  
1. 開会あいさつ、本日の目標  
2. 前回～本日までの経過報告  
3. 建築計画の説明  
4. おはなし  
5. グループワーク、発表  
6. まとめ  
7. 事務連絡、閉会挨拶

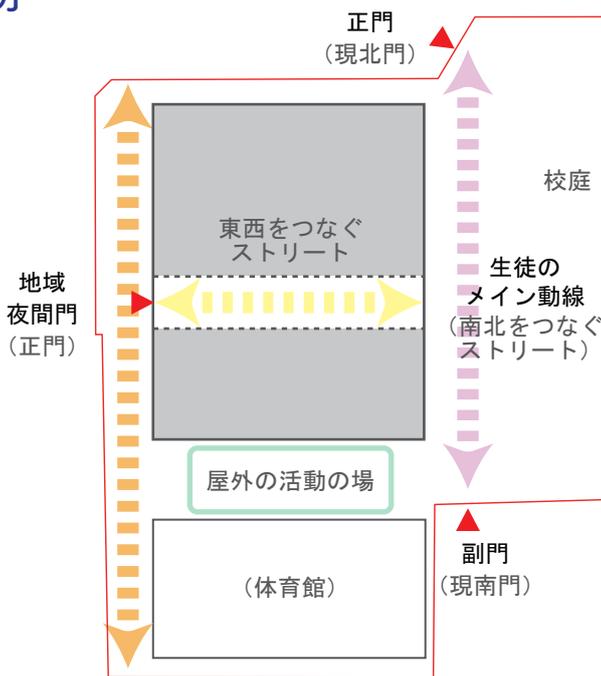
建築計画の説明

1 各門と校内動線

前回の改築懇談会③でいただいた意見を踏まえ、各門と動線の位置づけを検討しました。

北門を新たな正門、南門を副門とし、以前の街区を想起させるような南北をつなぐストリートを生徒のメイン動線として決定しました！現正門は夜間学級と地域の入口とし、南北を地域に開きます。その双方を東西につなぐストリートをつくり、新校舎と体育館をつなぐ屋外の活動の場としました！

生徒と地域の動線を明確に分けるだけでなく、つなぐストリートを作ることで、「日常的な使いやすさ」と「地域と学校のつながり」の両方を兼ね備えて、より糀谷中学校らしい形を目指していきます！



各門と校内動線

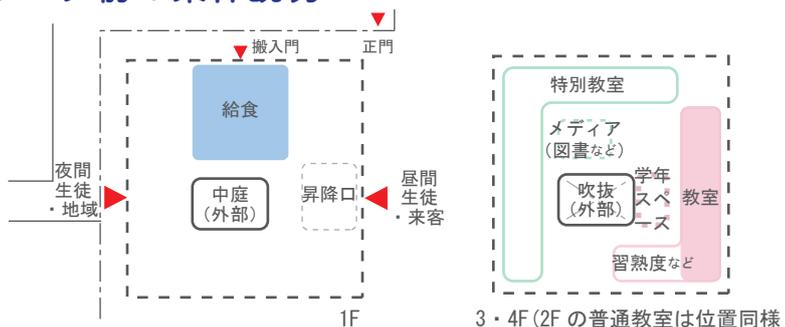
2 仮設校舎計画

仮設校舎の運用時に想定される登下校動線、校庭面積を確認しました。仮設校舎は糀谷中学校の生徒だけでなく、北糀谷小学校の児童も利用するため、各工事段階での生徒・児童の登下校動線と共に昇降口の位置を確認し、決定しました！

グループワーク前の条件説明

今回はゾーニングの議論で重要だと考えられる6つのポイントとして、昼間教室・夜間教室・夜間教員室・昼間教員室・地域関係室・防災備蓄について特に話し合っていました。

これまでの改築懇談会・WSなどを踏まえ、各ゾーンとしてはほぼ確定したい位置を説明しました。右の図にある校内動線、普通教室と特別教室の関係といった諸条件をあらかじめ設定しています。



3・4F (2Fの普通教室は位置同様)

設計ワークショップ運営チーム

大田区教育委員会 教育総務課施設担当：大森・井上 株式会社東畑建築事務所：高木・保科・山田・田中 まち楽房有限会社：加藤・榎原

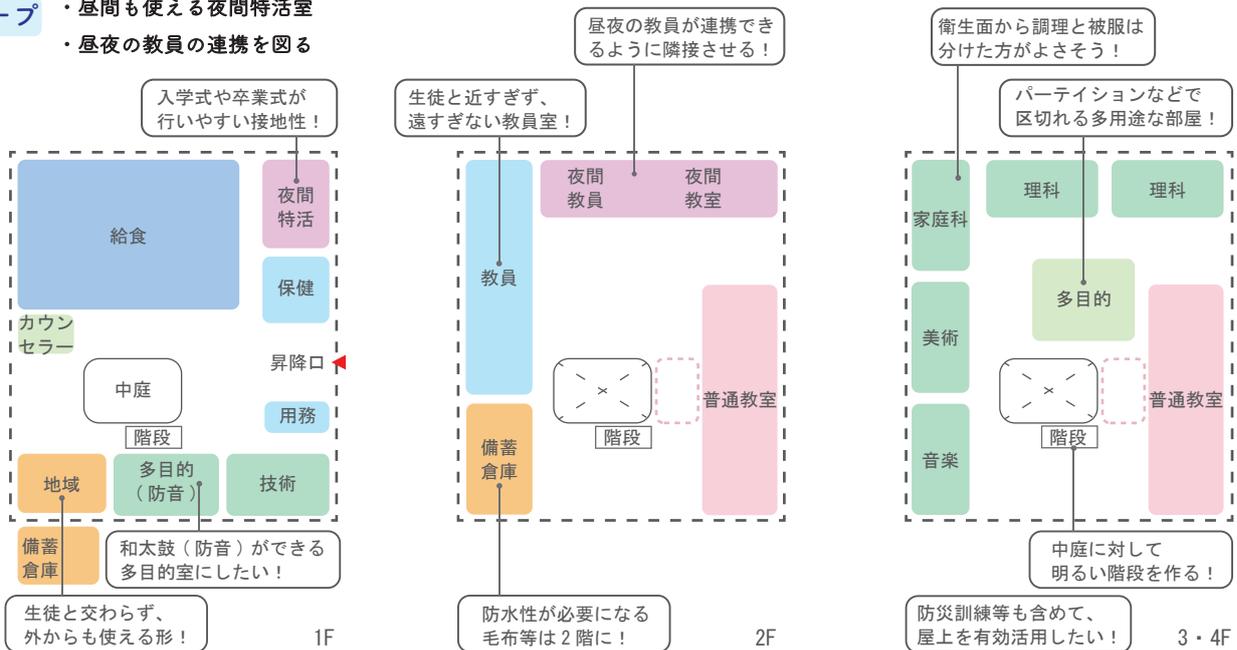
# グループワーク ゾーニングについて考えよう！

## 「描いてみよう！ 糀谷らしい中学校ゾーニング」

夜間学級・地域・管理ゾーンを中心とした、諸室のつながりを考えてもらいました！

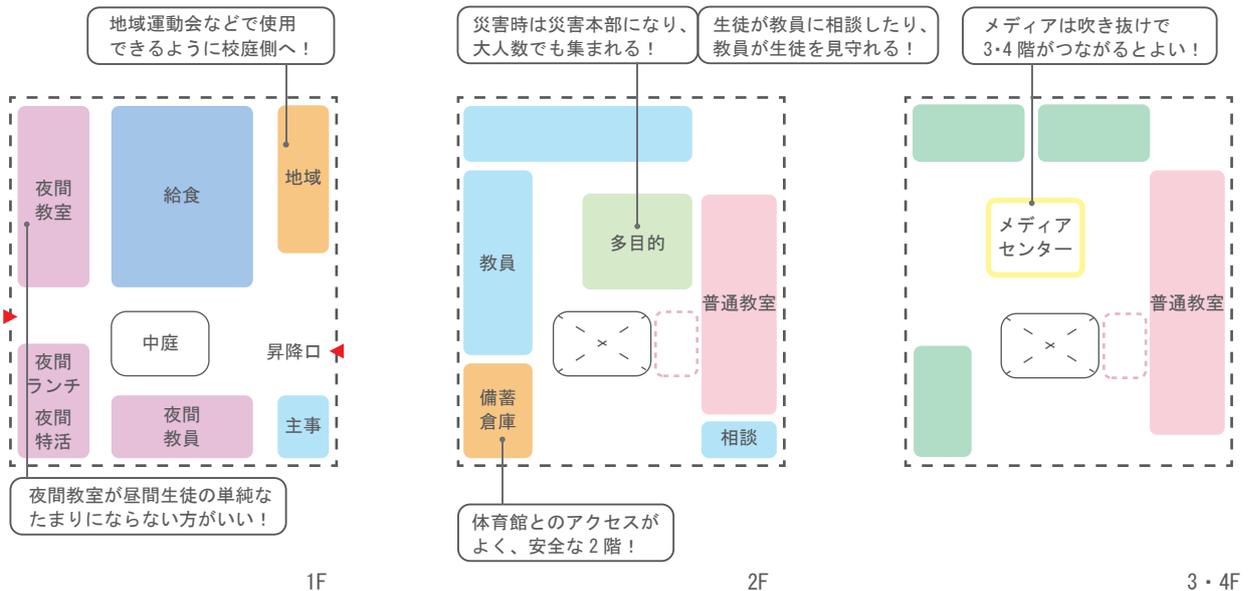
### A グループ

- ・昼間も使える夜間特活室
- ・昼夜の教員の連携を図る



### B グループ

- ・教員が生徒を見守れ、生徒が相談に来れる多目的室を学校の中心に配置！



## まとめ

### 1 昼夜間の関わりを意識した配置にしたい！

- ・昼間と夜間の教員室を隣接させることで連携を図る！
- ・夜間教室は昼間の在り方が乱雑にならないようにしたい！

### 2 多用途で使える大小いろいろな部屋がほしい！

- ・和太鼓ができる多目的室、防災拠点にできる多目的室、があるといい
- ・個室にもできる多目的室がほしい

### 講評

ゾーニング自体だけでなく、そこで出された各室への想いが設計を進めていくにあたり、重要です。大きな特徴である糀谷中学校と地域の強いつながりを活かし、「みんなで学校づくりを進める」ことを基本としながら、これからもそれぞれの想いを出し合っただければと思います。



東洋大学名誉教授  
長澤悟先生

ご不明な点やご意見については、  
下記担当までご連絡ください。  
問合せ先：大田区教育委員会事務局  
教育総務課 施設担当  
TEL：03-5744-1399  
mail：k-shisetsu@city.ota.tokyo.jp